十月十二日夕刊

常磐毎日新聞

定價一部金貳錢一ケ月金五拾錢郵税五厘
廣告料五錢十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人田村人　崎々
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社
電話　平　六〇〇番
郵税濟　第三種郵便物認可

板垣中將夫人の歌集『はゝこぐさ』

銃後に在る夫人の感懷

軍人大越中佐の令孃として知らるゝ板垣中將喜久子夫人の歌集「はゝこぐさ」が東京ポトナム社から出版された、荒木十畝壽伯の裝幀に依つて美しく飾られた此の歌集は、全卷悉く理智に富んだ健實な母としての、銃後に在る夫人の感懷が珠玉の如く盛られ誦する者の魂を打たず置かない。こゝに夫人の歌道を導いた小泉苳三氏の序文を掲げて紹介に代へる。

「ははこぐさ」一卷は、外よりも内にひそむものゝ根强さを思はせるよき女性の姿である。

著者がポトナム短歌會に加つてからすでに可なり年月を經てゐる。その間著者の作歌のうへに多少の消長はあつたがそのことは主として生活環境の變化の故であつて、短歌に對する熱情に變るところはなかつたのである。

しかも、この間の年月といふものは、あだかも、現代短歌にとつてやうやく傲れるものゝ苦惱の時代となり、幾多の尖鋭なる局面轉換論の繰返へされた年月である。われわれのポトナム短歌會も必然的にその波に捲きこまれ、しかも遲るゝことなからんと激しい努力を積重ねてきた時である。

それはときの冒險に等しく又捨身でもなければならなかつた。かうしたためまぐるしい時にも、この著者は短歌に對する不變の熱意により弛むことなく、家庭人としての感懷を靜かに歌ひあげて來た。これは又この著者の生活そのものの姿でもある。

いへば、この一卷から感得するものは、何よりも母としての女性である。そして又妻としての女性である。われわれはこの著者の育兒日記看護日記を見る。

著者の短歌に對する態度は。あくまでも愼ましくしかも根强い。その詠風にしても十分に怜悧である性格を持ちながら、それを作品の上に出さうとしてゐないむしろそれにより節度を保つことにより關心を持つてゐる。一應は理智を以つて處理しながら、最後に作品の上にはそれをすつか塗潰してゐる。そこにある餘裕と身だしなみは、これはそのまゝよき母よき妻としてのこの著者の姿であると思ふ。

「ははこぐさ」に收められてゐる作品の作られた期間は、また、わが國が國家的にめまぐるしく變化して來つゝあつた時でもある。この一卷の作品はいたるところに「銃後の女性」を感じさせる。これは、一つには著者の環境にもとづくものである。滿洲事變の頃著者は旅順の陸軍官舍にあつたその頃の作品は當時の「サンデー毎日」に掲げられて一部の人々から推稱をうけたことがある。今は著者は愛兒の教育のために東京に住んでをられる。この歌集は、いはば、かゝる時期に於けるかゝる家庭を通じて日本の一つの面の歷史をかたるものである。夫君の爲されつゝある仕事が歷史的に重大な意義を持つてゐるとすれば、この一卷またそれに伴ふものでなければならぬ。

まことに、任を滿洲國に國家最高の樞機に參與する夫君板垣中將のよき妻として且つ幾人の愛兒の育英を双肩になふよき母として愼ましく歌ひつゞけてゐる著者を見る時、尊く且つうたれるものがある短歌も亦決して單なる遊びではない。

ポトナム短歌會創立十五周年の季にあたつて、その成果の一つに「ははこぐさ」一卷を加へ得たことは、余にとつてもよろこび限りないところである。

昭和十一年六月十日　小泉苳三

一歯科一般
工科　歯列矯正科
口腔外科
保存科補綴科　繼續架
小兒歯科　歯槽膿漏科
レントゲン科
中野歯科醫院
平町田町（松月堂向ヒ）
電話五〇九番
院長　日本歯科醫學士　中野憲次
日本歯科醫學士　西川誠

かまぼこ
お惣菜用
さつま揚
吉原揚
平町一町目
石井蒲鉾店
製造
電話一四一番

石炭
コークス
豆炭
平驛前
阿部石炭店
電話三十七番

耳鼻
咽喉
科專門
大和田醫院
平町　南町一六（電話一七〇番）

外科一般
內臟外科
レントゲン科
北川外科
平町新川町二七（諸橋醫院跡）
醫學博士　北川芳夫
小林良次
（血液檢査毎日）
イッデモ入院出來マス
電話四六四番

メリヤスは
專門店の
ヤマカ
毛メリヤス、綿メリヤス
豐富に取揃へてございます。
毛物は今冬に至り一躍急騰致して居りますが毛製品は全部安い時季の契約品であり製造家直接の大量仕入に付綿メリヤス同樣、品も値も御滿足を得る品でございます。
冬のお仕度は是非!!!
山家メリヤス店
平町貳　電話六〇五番

イヤ、
「君いゝ服を
求めたね……」
レイの
「リレ正札堂さ」
高級仕立
セピロ　17•50ヨリ
三ツ組　25•00
實用向
セピロ　10•00ヨリ
三ツ組　15•00
男女通學服賣出中
東京で一番の
ライオン印を
お召し下さい
正札堂洋服店
平停車場通　電四三六番

縣下の体育界を全く席捲し盡す

スポーツ石城の名燦たり

教員青年共に携へて優勝

妻じいい武者振り

石城聯合青年團体育部は既報の如く昨十一日の郡山市安中グランドに開かれた縣下体育大會に出場、各種目を通じ斷然たる强味を示し總計二十九点縣下第一の成績にて燦たる優勝兜を始め陸上競技や相撲等の優勝旗も獲得するの大活躍を示したが同時に開催された縣下各郡支部對抗体育大會に出場した本郡の教員團も壓倒的成績を示し名譽の知事旗を授與されて青年團と共に縣下運動界を全く席捲し盡して本郡の名を輝かした、青年及び教員選手三着迄の戰績は左の如く就中平第一校の鈴木武雄訓導が四百米及び走高跳の兩種目に一等の優勝を博し得た素晴らしい武者振りは感激の衝動を各方面に與へて止まぬものがあつた

△青年團(百米)3藁谷廣(四百米)1寒河江武雄(千米繼走)1(走幅跳)2草野道雄(相撲)2内藤敏3宮部眞治△教員(百米)1草野仁(四百米)1鈴木武雄(走幅跳)1森山東吾2佐藤吉雄3鈴木正(八百繼走)1草野　鈴木本田　西牧(走高跳)1鈴木武雄　同森山東吾3西牧清富(柔道)3小林明良(砲丸投)2鈴木正3西牧清富

身賣防止の資金回收成績

今の處では頗る良好

〃凶作の東北を救へ〃の聲たかまつた昭和九年十月迫り來る生活苦の重壓から農村子女の身賣りが續出したのに鑑み、縣では縣下の職業紹介所を動員してこれが救濟に乘り出し平職業紹介所でも夫々救濟を行つたが同紹介所扱に係る現在までの被救護子女は五十七人の多數に上り防止資金の運用額は二千二百七十二圓、一人當りの最高は百五十圓、最低二十圓で救濟された子女は夫々同紹介所の手で各方面に就職、毎月二、三圓宛返濟してゐるが回收成績は頗る良好で今後共身賣防止並に救濟に當る筈であり目覺しき効果を擧げてゐるので期待されてゐる

オリムピックの旅【十五】

▽……往來途上の印象記

辯護士　松野尾繁雄

此の日は、完全に日本デーとなりヒットラー總統は、日本の優勝に花を添えるために臨席したようなものであつた。

ヒットラーの人氣

ヒットラーの人氣のことをよくきかれる。全くそれはすばらしい。スタディオンに行く自動車上のヒットラーを、ベルリナー・ストラーセで沿道の民衆と、ともに二度迎えたことがあつたが、助手臺に突起つて、右手を前に出し、民衆のハイルの聲に答えるあたり、正にさのそうたる英雄兒だ。ヒットラー現れるやスタディオンのその熱狂振り、或はヒットラーの朗々たる演說が、擴聲機を通して街頭にはんらんしたときの伯林市民の謹聽振り、その一つ一つは、今日、ヒットラーが獨逸國民の心臟を如何にギユット力强く握つてゐるかを物語るのである。

ヒットラーの人氣、そこにはそれだけの根據がある獨逸國民の血をしぼるに等しかつた賠償金の不拂宣言軍備再整備によるベルサイユ條約の破棄更にラインランドへの出兵。

これらは、大戰以來獨逸國民の上に悉く蔽ひかぶさつて居た暗雲だ。これをヒットラーは、國防聯盟に力なしと見てとつて、勇敢に拂ひのけた。獨逸國民がヒットラーに對しワッと歡聲をあげたのも無理はない。

一時金で仕末をつける

本町裏の江筋堀

平町では同町本町通り南裏を流れる愛谷江筋水路にヒユーム管を埋めて自動車の通れる道路にする計畫を樹て愈々近く着工することになつたが從來平町では同江筋堤塘を道路に使用し居るため年百圓宛江筋組合に支拂つてゐたのに對し、組合では今後は年々二百圓宛出せと迫つて來たので土木委員會を開き協議した結果、一時金ならば惜むべきでないとの意嚮に決し十日午前中飯野村役場で平町土木委員と江筋側代表伊藤淺之助、青木清太郎、阿部瀧藏の三氏が會見組合側では五百圓を要求したが平町としては種々接衝の末三百五十圓の支出を認めたので組合では總會を開き協議の上本十二日午後回答することになつたが大體に於て三百五十圓で纏るものと見られてゐる

颱風痛手を蒙り果實業者起てず

赤井村から救濟方陳情

赤井村ではこの程縣農務課に過般の颱飛被害救濟方を陳情したが今回の颱風は折柄出荷期にあつた果實、蔬菜類に殊更甚大な被害を受け梨、柿のみで三萬二千七百圓、蔬菜を合して四萬一千餘圓に達し同村心前原果樹組合の如きは二十九町五反歩二萬九千五百圓、約七割の被害を蒙り、果實業者は殆ど起つ能はぬ打擊を受けてゐると

獨逸の種目に女生徒の躍動美

昨日の磐女運動會

繼走優勝は第二校

磐女の陸上運動會は昨日開催、絶好の秋日和の下に彌が上にも乙女達の意氣は昂り力强い躍動美は遺憾なく發揚された「日章旗の下」「歌へ小鳥」「紅バラ」「荒城の月」等々各磐女校以外には見られぬマスゲームの律動を始め盛澤山のプログラムに一般觀衆は大喜び、更らに呼び物の郡下小學校女兒童四百米繼走は觀衆の熱狂裡に平第二(木村、安齋黑木、有賀)チームが月桂冠を擔ひ榮ある新調の優賞旗を獲得常將軍の貫錄を示した、戰績は左の如くである

1五九秒二平第二2平第三3植田4湯本

今日、獨逸では「お早よう」「今日は」「今晩は」の言葉はなくなつた。すべては「ハイル、ヒットラー」である。手を前にあげて宿屋の女主人、女中迄が一日中「ハイル・ヒットラー」だ。

よくも之迄に人氣が、出たものだが、これは表面現れたところで、實質はどんなものかかんたんには結論は出來ない。

◇◇◇

國旗と提灯

無事大任を果し

光榮の警官隊歸る

大演習御警衛應援のために渡道中の平署左記警官は無事大任を果して昨十一日歸署した

草刈部長　熊田刑事　遠藤　井口　金澤　菊地各巡査

團子刺しに憤慨
子供を逆さ吊り
半死半生の目に會はす
けふ平署に檢擧さる

磐崎村大字湯長谷字梅平農齋藤傳兵衛（五三）は去月卅日名月の夜、通稱團子刺しと稱する子供達の惡戯に名月に供へた梨二個を盗られたのに憤慨、逃げ遲れた同村久一三男吉原久男（一三）君を引捕へて繩で足を縛り裏の梁に逆さに吊り下げ散々毆打、揚句の果下駄で蹴飛ばして頭部に全治十日間の傷を負はせ久男君の悲鳴に驚いた憐人が駈付て來て辛ふじて救出したこと發覺十二日平署で檢擧取調べ中

水神社祭典
平町で執行

平町では來る十五日午前十時から同町八幡小路排水池構内の水神祭典を執行する

有望な
花類栽培

平町久保町白石由雄（三六）君は花類の栽培を本年四月から初め去月末東京に洋菊を一本十錢で飛ぶ樣に賣れたので今度はカーネシヨンを栽培してゐるがこれも一本三錢のものが約五倍の十五錢位に賣れるので比較的栽培の困難なメロン栽培よりも容易で且つ有利なので農家の副業として今後の成績を注目されてゐる

白石君は磐中卒業後東京田園調布の溫室村で六ケ年間溫室草花の栽培法を研究本年四月歸郷栽培を初めたものである

驛員の慰安會

平驛高萩間及小川郷間各驛鐵道從業員慰安會は三十日、三十一日、一日の三日間平町聚樂館で開催、中野劇團その他の餘興がある

學費稼ぎに
鐵屑窃盗

湯本町大字湯本字下淺貝一二橋本フク（三五）弟正二（一九）同人母トメ（五八）の三名は共謀で十一日午后内郷村磐城炭礦塵捨場から鐵屑約十四貫匁を盗んだこと發覺平署に檢擧され取調べたところ生活苦からフクの伜が學校に持つて行く廿四錢の金が出來ずの始末と判明した

手懸りのない
白骨屍體
年齢は卅五、六
他殺でないと鑑定

去る十日午後五時頃勿來町酒井原山林内に白骨屍體の横つて居るのを植田水力電氣會社電工瀬戸三郎氏が發見驚いて早速植田署に届け出た、係員が急行檢視の結果、綿セルの單衣、長襦袢メリヤスの上下を着して居り三十五、六才前後の男子で他殺の疑ひなく本年五月頃自殺した屍體が其儘になつて居たらしく傍らに麻裏草履一足ある外に手懸りがないので身元調査に手を燒いてゐる

コイ〳〵
妙な花賭博

好間村大字北好間野菜行商大矢音次郎（七二）坑夫三井定治（四七）定上吉次（四二）川又倉太（四〇）の兩名は昨十一日大矢方で『コイ〳〵』と稱する花賭博開帳中平署員に檢擧された

坑夫長屋を襲ひ
常習博徒八名を檢擧
拐帶犯が洩した秘密

平署では本十二日午前中赤井村川瀬炭礦坑夫長屋を襲つて同礦坑夫伊藤正男（四〇）外八名を檢擧取調べてゐるが右は坑夫間に於ける常習賭博の開張が發覺したもので、發覺の端緒は去る七日夜社金四百餘圓を拐帶逃走して藝妓と遊興中逮捕された同礦糧食部雇馬目彦太郎（三七）を取調べてゐるうち同人の口から洩らされたものである

大金を借り
無斷轉居
債權者吃驚

平窪村下平窪明智源吉（七一）は本春知り合ひの東京市芝區高輪南町水越彌方同店人裁縫師野崎トキ（四〇）さんに大枚八百七圓餘を貸し最近になつて催促した處トキは無斷轉居したこと判明したので青くなつて平署へ取押へ方願ひ出た

映畫見物中
袂からスル

湯本町字八仙安次郎長男關幸六（一三）假名は去月廿一日夜同町湯本劇場で映畫見物中の小名濱町字横町山本榮三郎さんの袂から現金四圓五十錢在中の墓口をすり取つたこと發覺十二日平署で檢擧した

遠足運動協議

平第二校は來る十五日遠足運動會を催す爲め今十二日職員會を開き行先其他を協議した

俳優志願逃走

平町一町目四會津屋方雇人山形縣西置賜郡西根村生れ高橋俊一（一九）は昨年八月前借金七十圓で雇はれたが去月十八日夜十二時頃家人の熟睡中家出、同人は大の演劇フアンで常に俳優になりたいと口走つてゐたので或は地方廻りの劇團に入つてゐるかも知れませんと主人から平署へ捜索方願ひ出た

三益主人逝く

平町料理屋組合長同町新田町料亭三益主人渡邊傳三郎氏は十一日午後十一時頃突然腦溢血の發作を起こして十二日午前六時死亡した、享年四十六

裁判一束

△既報江名町仲之作港の船着場で船主を岩壁に突落し重傷を與へた外前借詐欺の茨城縣多賀郡生れ目下住居不定漁夫篠原次男（三一）に係る傷害、詐欺事件の判決言渡し公判は今十二日午前九時から平區で野木判事係り氏家檢事立會の下に開廷されたが判事から求刑十ケ月に對し懲役八ケ月を言渡された

眼科醫院　平町紺屋町

平町人事

回出生

△八幡小路九坂本哲雄氏長男一雄さん

回婚姻

△東京市瀧野川區瀧野川町二二四八山田正雄氏（三六）五丁目一相川とみ子さん（二二）

△舊城跡二八安藤錠氏（五〇）大阪市南區宇右衛門町一六間タニさん（三三）

放送時間
十三日

天氣豫報

今晩は北東の風　曇后雨模樣
明日は北東の風　曇后夕立模樣

今晩の部

▼後六、〇〇 子供の時間（第一部）福島市第一小學校尋六兒童、伴奏竹内至「奈良」「故郷」「荒城の月」（第二部）福島市第二小學校兒童、伴奏寺島良光「猿まはし」「新島守」「瀧」「雀のお宿」「お早う」

▼後六、二五 英語講座 F Hリー

▼後七、三〇 講演「オリムピックより歸りて」オリムピック派遣選手各部代表

▼後八、〇〇 俚謠めぐり

▼後八、一五 レヴユウ「ゴンドリア」寶塚少女歌劇月組生徒、同聲樂專科生桃谷演奏所より中繼

▼後八、五〇 浪花節「金子市と三千歳」木村友衛

▼後九、三〇 時報 ニユース 明日の話題 氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前六、三〇 基礎佛語講座 丸山順太郎

▼前七、〇一 朝の修養「奥の細道の心」萩原恭次郎 朝水

▼前九、四〇 十夜法要 鎌倉光明寺中繼

▼前一〇、一〇 童謠とお話 大阪市天王寺師付近兒童

▼前一〇、三〇 家庭講座 育兒十二ケ月「健康と精神衛生」大久保直穆

▼後〇、〇五 新日本音樂 時田初枝他

▼後〇、三〇 國民歌謠「邦人一如の歌」伊藤武雄

▼後二、〇〇 小學生尋三の時間唱歌 東京市神應校兒童

▼後二、四〇 小學生高等科の時間「我が國の農業」（レコードとお話）近藤康男

▼後四、二〇 東京相撲大阪場所 堂島大橋際相撲場中繼

▼後六、〇〇 幼兒への昔噺「さんたらう」オハナシクラブ

▼後六、二五 青年の時間「青年と美術」南薫造

▼後七、三〇 生活改善講座「健康生活と體育運動」岩原拓

▼後八、〇〇 俚謠めぐり「安來節」「關の五本松」川島なみ

▼後八、一二 義太夫さはり「揚屋」豊竹昇之助

▼後八、三〇 管絃樂 ハインドの「交響曲第十六」東北帝大交響樂團

▼後九、〇〇 落語「長屋チーム」三遊亭金馬

続る解瓦の角の公公

（連載小説）

悟道軒圓玉（作）
丸尾至陽（画）

二四四　うてない大砲

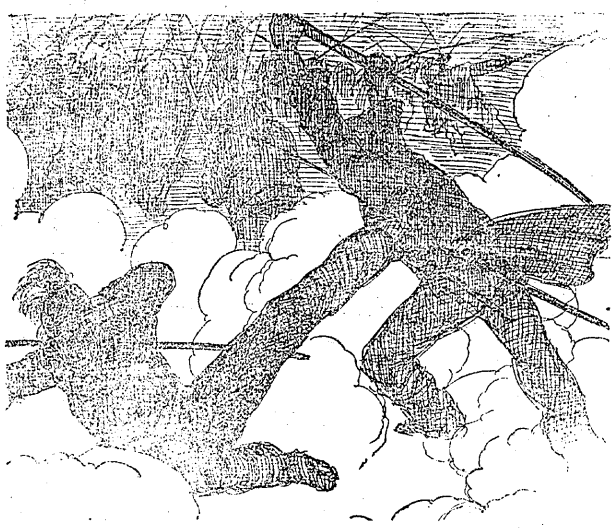
時は明治二年二十五日の拂曉、ところは南部領宮古灣この日は波もおだやかにてやがて東よしさし昇る朝日は海面を照しその美しい事時に官軍の軍艦甲鐵に居つた者は朝日を拜して

○『今日はよい天氣だな、どうだこの海のおだやかなことは、昨日はあれくるつたが今日はすこぶるおとなしいぞ、誰かあばれたかといはぬばかり、小波は艦ばたをなでゝ嬉しさうに笑つてゐるやうだ』

△『見ろ／＼沖から艦が來たぞ、ハハアあれは外國艦だな』

と云つたが荒井郁之助の指指を致す回天は敵艦に接近するまで幕府の軍艦なることを知らせぬ爲めに檣頭高く米國の旗國をかゝげ充分に戰闘準備をいたし徐々と宮古灣に乘り入れ、甲鐵に接近した時にバラリとこの國旗をおろして日の丸の旗をかゝげ、同時に甲鐵をのぞんでさつと彈丸をあびせた、十三門の大砲を一時に射ち出した、これには官軍もおどろいた、敵だといつたが狼狽して大砲を射つこともならぬ、しかしやうやく戰闘旗を掲げて敵艦の乘り込みしことをしらせた、とはいへ突如のことと汽罐に火をさすことも出來ない、從つて船をうごかにへて人々は甲鐵に乘り込まむとしたが回天からは一丈もある、それがために乘り込むのに躊躇した、すると士官の大塚浪次郎といふものが大刀を引き拔いて浪『續け』

と叫んだがパッと甲鐵へおどり込んだ、續いて野村理三郎、笹間金八、佐藤作太郎之らをはじめとして三四十人、一刀を拔きつれておどり込み當るを幸ひ切り立てた、こういふ戰ひは度々いたしてなれてゐる人々といひそれに强膽ですから



すこともならず、これを見た幕軍は八幡勝ちはこゝなりと甲鐵に砲彈を飛ばしたが名の如く鐵のよろひを着てゐる艦とて貫ぬくこともならずこちらで射ち出した彈丸は跳ねかへる、これを見て土方歳三が歳『エヽ面仆だおどり込め……』

と下知をした、おゝとこ更に屆せず右と左に斬つてすてる、中にも笹間金八は兩刀を引き拔いてあばれまわつた、これは斬りまくつたとはいへません暴れまわる、この笹間金八の緣者とは私は少年の頃よりの朋友でその人より聞いたがこの時金八一人で斬つた敵は十二三人、まこの中に歩兵指圖役の川崎準三郎、鈴木榮吉といふものも働いた、川崎は幕臣、後に講談師となつて邑井吉洋といつたがこれは面白い人物でした、この川崎や鈴木榮吉氏もこの時には目ざましい働きをした、それについて滑稽な話がある、私しが川崎に會つた時に君は何が爲めに榎本さんについて函館へ行つて戰ひをしたかさだめしそれには相當な考へもあつたであらう何いふ意見を抱いてゐたかとかう聞いた時に川崎の答へが揮つてゐました、別段これと云ふ深い考へはないよ三百年來將軍家のお膝元の江戸に米のかはりに羊を食つて人となつた薩州の奴だの、おそれ多くも御所へ鐵砲をむけた長州その他の田舍侍が、我ものがほに横行するが癪にさはる、それで榎本さんの部下になつて戰つたよと斯う云ひました、これによるとその頃の人は甚だ考へが單純です、しかし江戸侍としてはもつともものやうにも思はれる、まア十中の八九深い考へがあつて戰ひをしたものはないであらうと思はれる、さてこういふ人々が甲鐵の中であばれまはるそのうちに敵では速射砲を以つて幕軍をなやました、この折回天から射ち出した彈丸が甲板を貫き汽罐室にあばれ込み狂ひまはる、大砲の丸彈のあばれるは押へ付けるにこまる、堅い物につきあたるといよいよあばれるところで他の官軍の軍艦は大砲を開くことが出來ない何んとならば回天が甲鐵の上へ乘りかけてゐる、これを射たうとすると味方の艦を射つことになる、これには大いた困りました。

夫渡邊傳三郎儀十月十二日午前六時腦溢血にて急死致し候に付き此段謹告仕候

追て葬儀は十月十四日午後一時自宅出棺平町營火葬場に於て告別式執行仕候

十月十二日

喪主　三益渡邊ミエ
兄　渡邊傳太郎
外親　戚一同

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士　鈴木正男
自炊のお需めに應ず
入院の便あり
平町田町（電話五八番）
藤田女學校前

御知らせ
防虫劑
玉ナフタリン
片手一杯ツカミ取進上
開店三十週年記念謝恩デー大好評を博しましたにつき引續き毎月十五日を謝恩デーと定め御買上金五拾錢以上の御客樣に玉ナフタリンを差上ます
アセモタヾレに妙藥トフメルを無料でつけて上ます
平町古鍛冶町縣社の下
藥と衛生相談所
阿康藥局
電話四四番
振替口座東京三〇〇六五

護れ／大空／防空／防空！
眞の防空は……
優秀なる飛行機の製作にあります
優秀なる飛行機の製作は……
模型飛行機の研究から！
作りませう模型飛行機を！
國の護りの研究に！
模型飛行機の材料なら何でも揃つて居ります。
小學生の手工や研究用として説明書付一組金十錢のセットも出來て居ります。
平驛前　いづみや玩具店

平町南町五二
根本産婦人科醫院
（手術室完備入院隨時）
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番